

健康でより豊かな食生活に貢献



証券コード2612

角 かどや製油株式会社

2007年3月期中間決算説明会

決算概要について

2006年11月15日(水)

取締役専務執行役員 水戸 優



1. 会社概要
2. 2007年3月期中間決算概要
3. 2007年3月期事業計画



1. 会社概要



会社プロフィール(2006年9月30日現在)

- 所在地 本社:東京都品川区
- 創業 1858年(安政5年)
- 設立 1957年(昭和32年)5月2日
- 代表者 取締役社長 小澤 二郎
- 資本金 21億60百万円
- 株主数 2,585名
- 従業員数 272名
- 事業所 本社、工場、
4支店、5営業所、1事業所

- 事業内容 ごま業界のトップメーカー
『ごま油、食品ごま、商品、脱脂ごま』



(小豆島工場全景)



主な取扱商品

ごま油

家庭用



業務用



食品ごま

家庭用



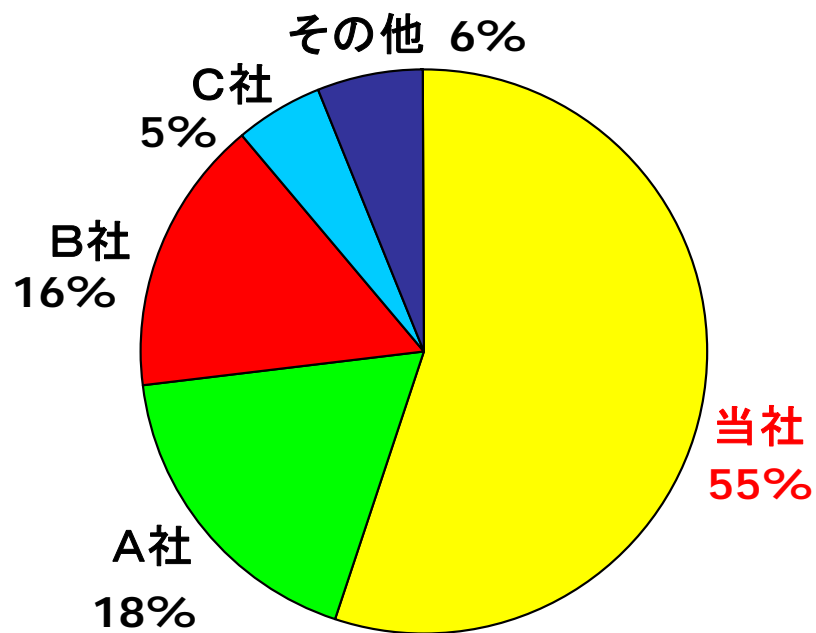
業務用



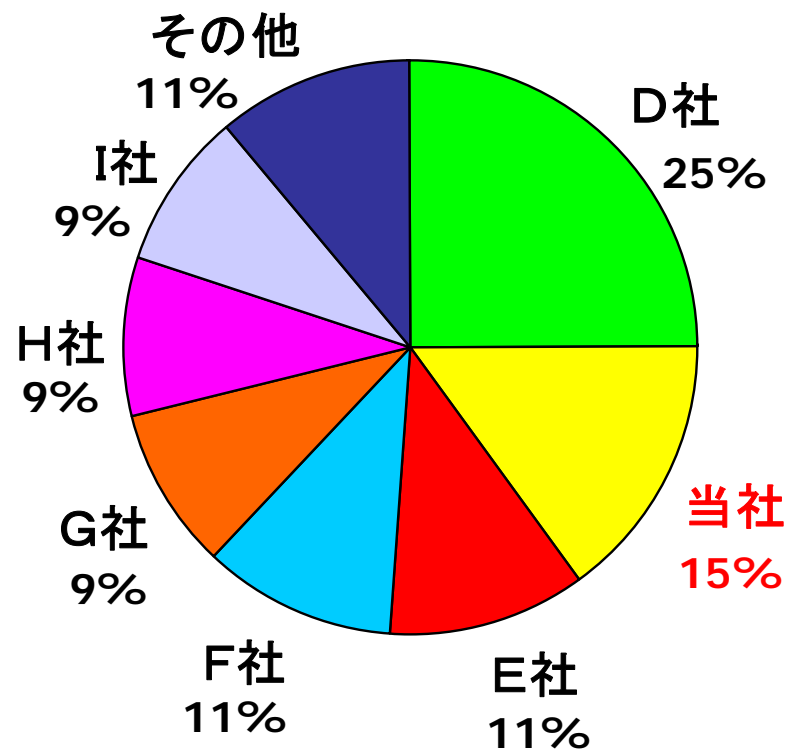


シェア状況

ごま油(2005年売上高)



食品ごま(2003年売上高)



上記数値は【株式会社富士経済】調査による



2. 2007年3月期中間決算概要



07/3月期 中間決算の概要

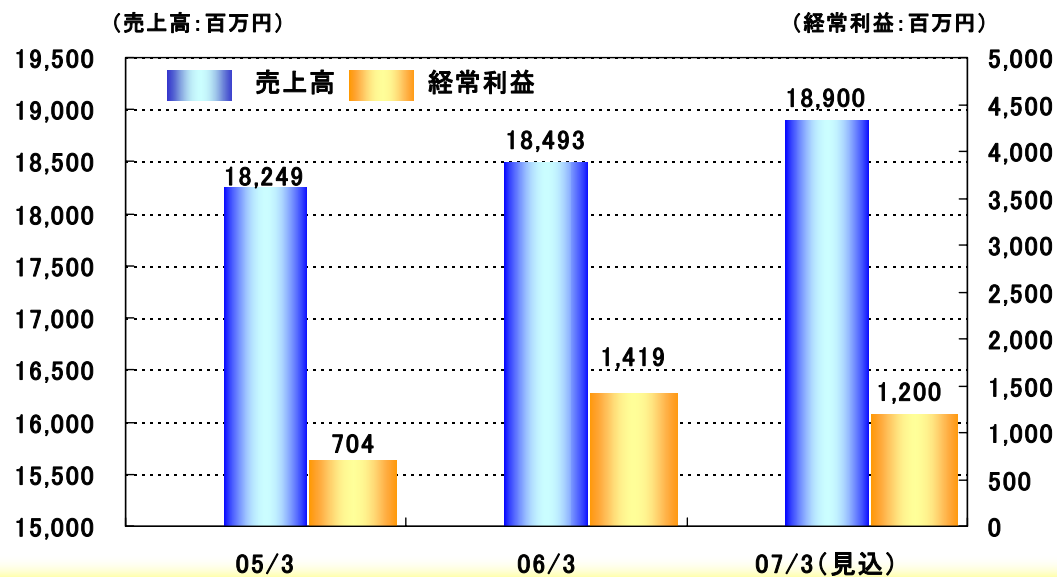
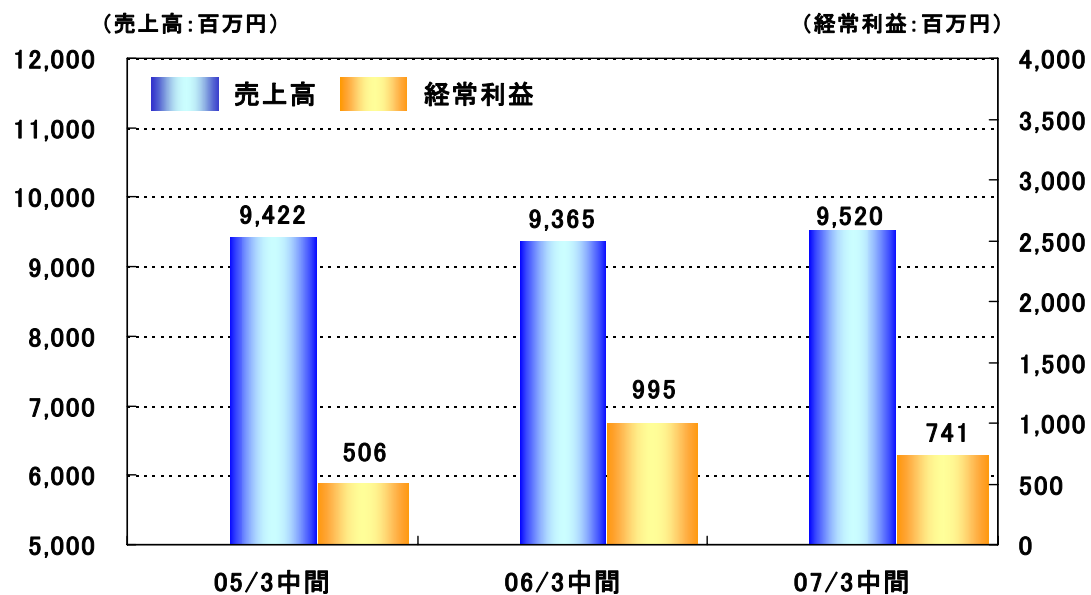
(単位: 百万円)	06/3月期 中間	07/3月期 中間	前期比		増減要因
			増減金額	増減率	
売上高	9,365	9,520	155	1.7%	ごま油 輸出用好調、業務用苦戦、大豆白絞油減 → ごま油2.7%増、食品ごま2.0%増
売上原価	6,037	6,149	112	1.9%	販売数量増 ドルベース仕入価格8%低下 為替6%円安 燃料費他経費増
販管費	2,448	2,651	203	8.3%	販促費増 役員賞与の費用計上
営業利益 〈利益率〉	880 〈9.4%〉	720 〈7.6%〉	△160	△18.1%	
経常利益 〈利益率〉	995 〈10.6%〉	741 〈7.8%〉	△254	△25.5%	
純利益 〈利益率〉	549 〈5.9%〉	411 〈4.3%〉	△138	△25.1%	

【為替】

原価計上レート¥/\$	110円	116円
決済レート¥/\$	107円	115円

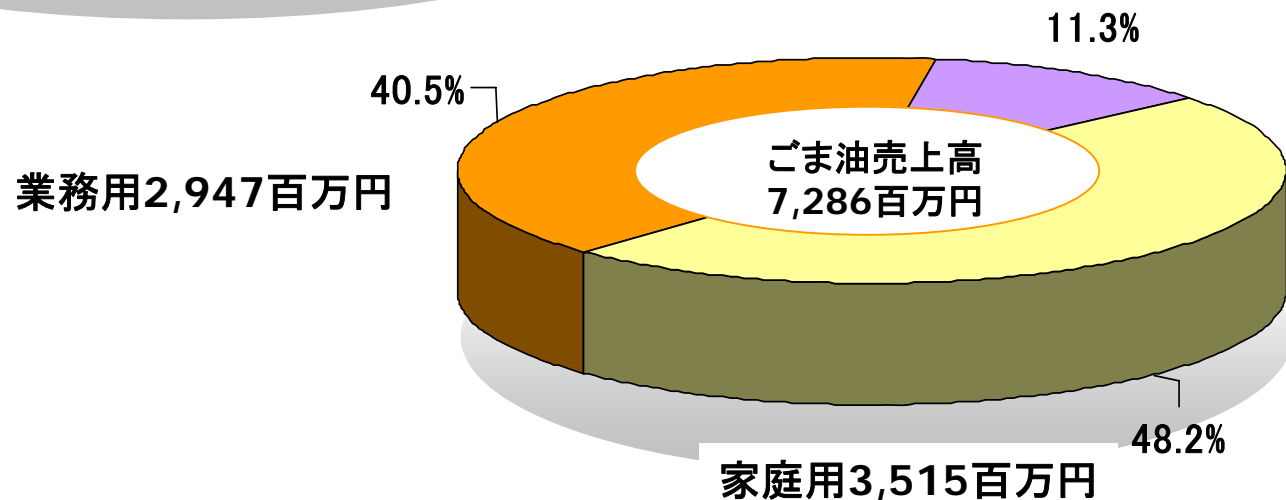
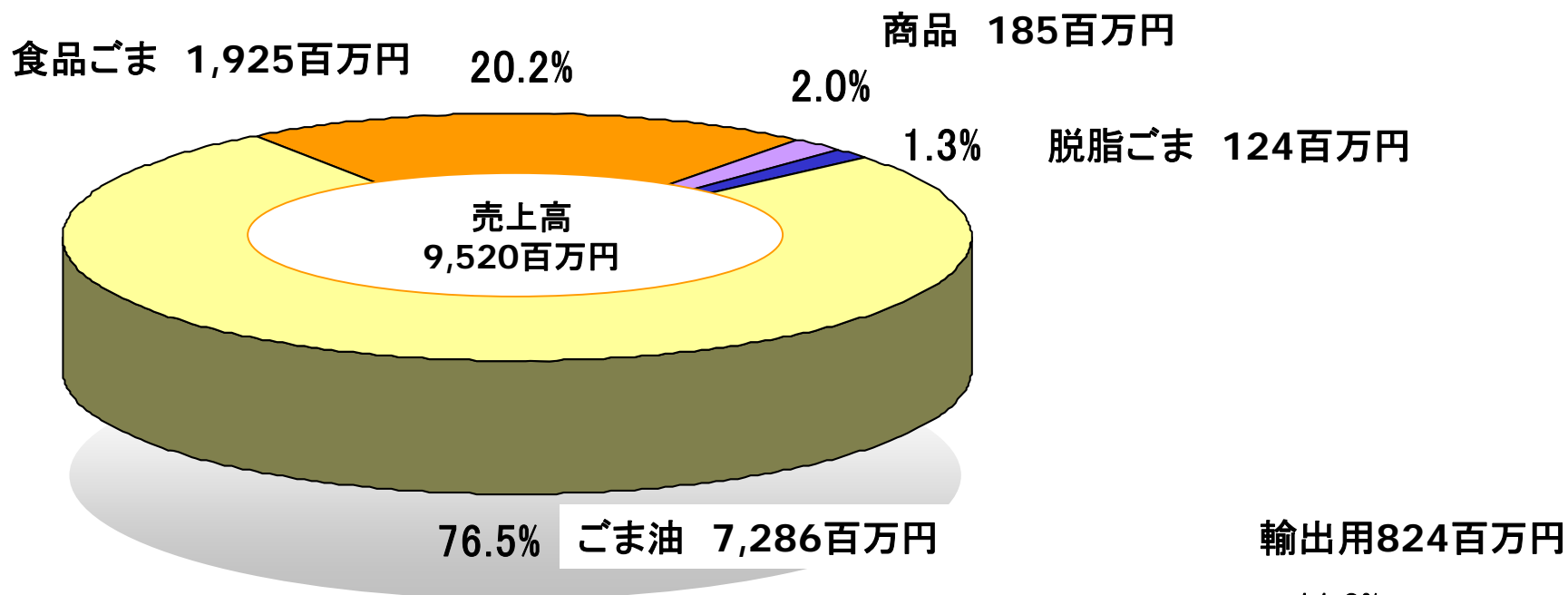


業績の推移





商品別、用途別売上高 (2007年3月期中間)





貸借対照表の主な増減項目

(単位:百万円)	06/3月期	構成比 (%)	07/3月期 中間	構成比 (%)	前期比		増減要因
					増減金額	増減率	
資 産							
■流動資産	10,932	58.3	10,831	58.3	△101	△0.9%	原料在庫減
■固定資産	7,809	41.7	7,744	41.7	△65	△0.8%	
資 産 合 計	18,741	100.0	18,575	100.0	△166	△0.9%	
負 債							
■流動負債	3,870	20.6	3,713	20.0	△157	△4.1%	工事関係等の 未払金減
■固定負債	611	3.3	620	3.3	9	1.5%	
負 債 合 計	4,481	23.9	4,333	23.3	△148	△3.3%	
純 資 産 合 計	14,260	76.1	14,242	76.7	△18	△0.1%	
負債・純資産合計	18,741	100.0	18,575	100.0	△166	△0.9%	



3. 2007年3月期事業計画



2007年3月期事業計画

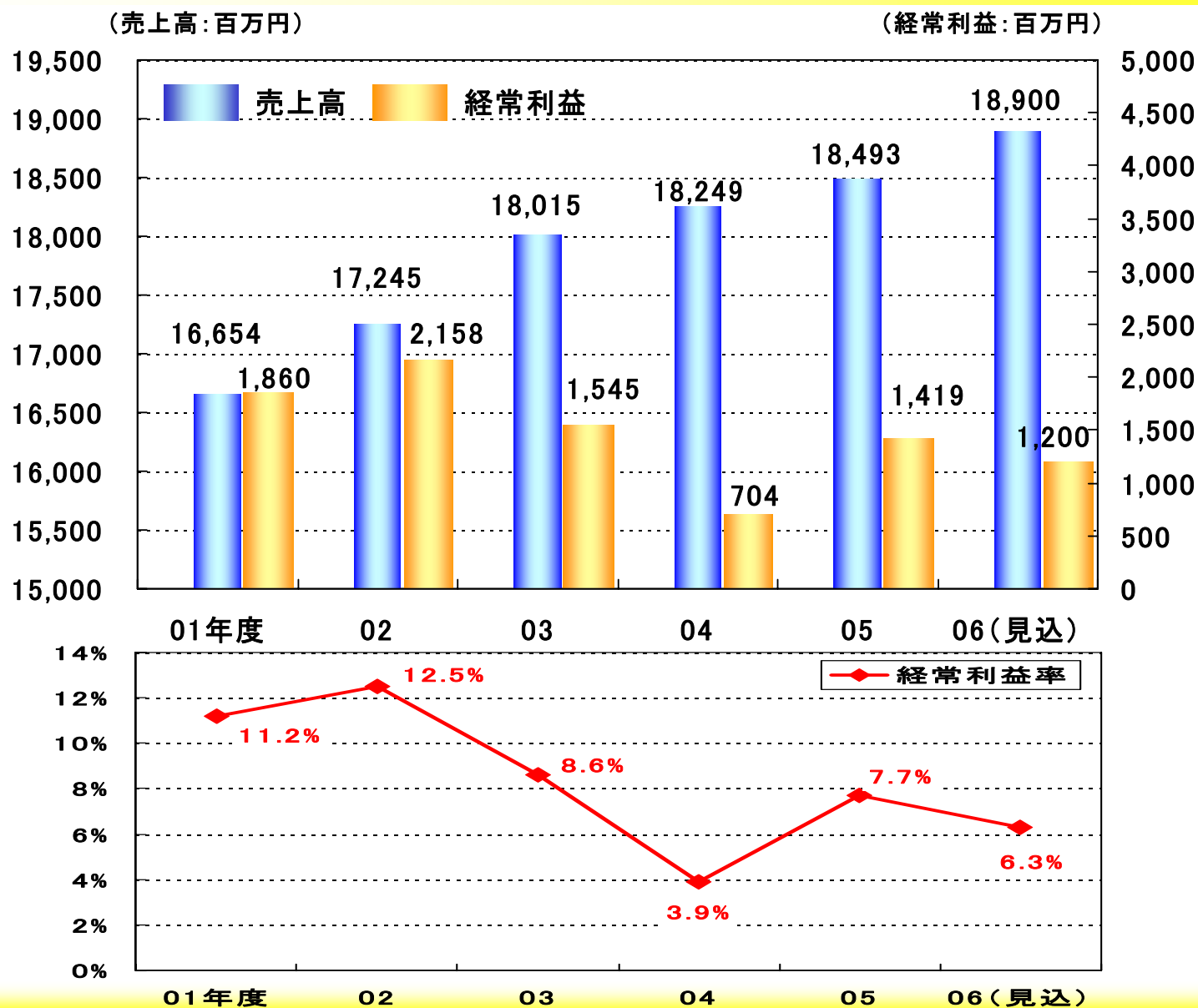
(単位：百万円)	06/3月期 実績	07/3月期 予想	前期比		増減要因
			増減金額	増減率	
売上高	18,493	18,900	407	2.2%	消費者キャンペーン等による 販売数量増 ごま油 約2%増見込 食品ごま 約2%増見込
営業利益 〈利益率〉	1,245 〈6.8%〉	1,200 〈6.3%〉	△45	△3.6%	
経常利益 〈利益率〉	1,419 〈7.7%〉	1,200 〈6.3%〉	△219	△15.4%	原料価格の高止まり 為替円安 販促費増
当期純利益 〈利益率〉	800 〈4.3%〉	650 〈3.4%〉	△150	△18.8%	燃料費高騰、設備修理費増

為替レート ¥/\$ 110円(実績) 117円(想定)

為替レート1円変動による損益への影響額 40百万円/年



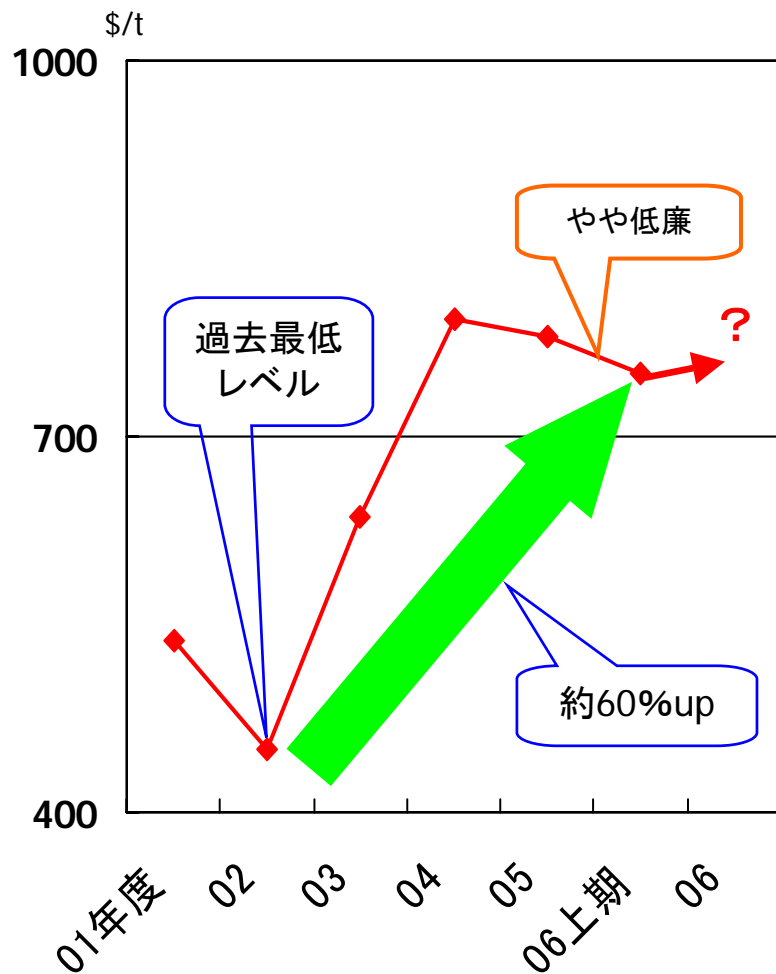
07年3月期 売上高、経常利益、経常利益率の推移





原料価格高騰の状況

原料仕入価格推移



1.原料価格高騰の要因

- ①2001年度生産分の豊作で原料価格は2002年度過去最低レベルとなったが、2002年度生産分以降は生産者の一部がごまの低価格に嫌気し、他の換金作物に転作したことにより、需給バランスが崩れた。
- ②更に2003年度、主要生産国である中国において、天候不順と、可処分所得の増加によりと見られる国内需要増により、同国の輸入量と輸出量が逆転したため、国際需給が引き締まった。
(従来の約5万トンの輸出から、2005年は約16万トンの輸入国になった。)

2.原料価格の見通し

中国からの引き合いが依然活発(本年1~7月までに約20万トンを入力。但しその後は低調気味)であり、2006年度仕入分は、流動的である。

証券コード2612

角かどや製油株式会社

2007年3月期中間決算説明会



経営展望について

2006年11月15日(水)

代表取締役社長 小澤二郎



1. 2007年3月期中間概況
2. 2007年3月期通期及び今後の展望
 - ▶ 価格転嫁の状況
 - ▶ 売上拡大策
 - ▶ 目標とする指標(配当性向)
 - ▶ 神戸土地



2007年3月期中間概況



2007年3月期中間概況

- ◆ 販売数量増による売上増
- ◆ 原料価格やや低廉も、為替円安・燃料費他経費増で、売上原価増
- ◆ 販促費増



2007年3月期通期及び今後の展望



価格転嫁の状況

業界の慣行、デフレ経済下により、原料価格の高騰による価格転嫁は需要家には受け入れられにくかった



リーディングカンパニーのメリットを活かし、昨年初めから本格的に販売価格の是正に着手した



更に是正を図ることは容易ではないが、今後も原料価格の高止まりが予想されることから、引き続き価格是正に取り組んでいる



しかしながら、競合他社が低価格販売によりシェア獲得に動いている



市場の反応を見て柔軟に対応している



売上拡大策(ごま油)

ごま油

◆ 新製品

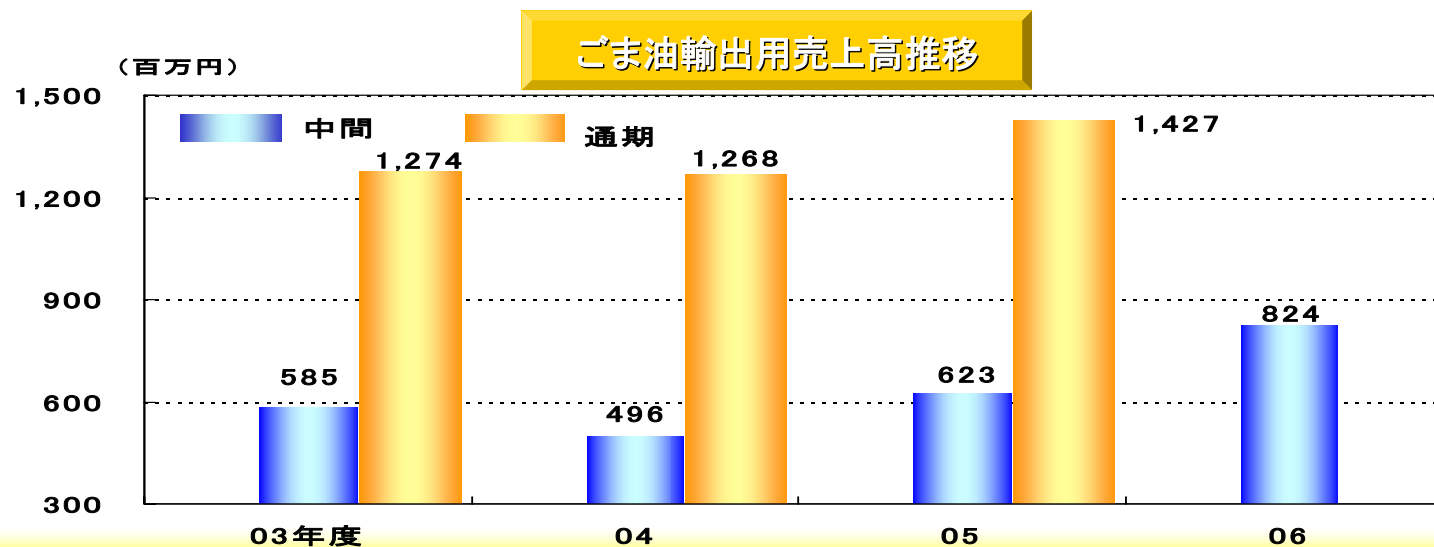
【純正黒ごま油150g】

厳選した良質の黒ごまを、当社独自の製法で製品化。
当初取引先限定で販売したが、一般にも販売開始。



◆ 輸出用

北米(アメリカ、カナダ)を中心に、香港等のアジアにも輸出。
今後拡販が見込めるため、専任者を配置するなど注力。





売上拡大策(食品ごま)

食品ごま

【家庭用】

「いりごま・すりごま」を、お客様に使いやすく、かつ利益率が高い小袋タイプをメインにして拡販している



【業務用】

製菓、タレ、ドレッシングなど、用途が広がっており、利益率が高い「ねりごま」を拡販している





売上拡大策(ポジティブリスト制度対応)

ポジティブリスト制度

- 農薬の残留成分が一定以上含まれる食品の出荷・流通を原則禁止する制度
- 本年5月29日から導入された

当社は、原料の残留農薬の安全性に対し、逸早く取り組み、分析・検査体制および設備の増強を図ってきた。更に、公的機関にも詳細な検査を依頼してきた。

今後もより一層、体制および設備の強化を図り、ごま業界の競合他社より一歩先を行く考えである。



競合より先へ

差別化による売上拡大へ繋げる



目標とする指標(配当性向)

◆ 2007年3月期より、
業績に連動させた配当に変更した

◆ 配当性向の目標は、
当期純利益の40%を目処とし、
特別な要因があった場合は調整する



神戸土地

将来の第二工場を視野に入れ、
神戸に土地(約5,000坪)および建物を取得



本年10・11月に、大阪・名古屋・広島地区の
物流センターとして、「神戸事業所」を稼動開始



用途・投資効率等、将来の第二工場建設の
ための検討を開始(委員会を設置し現在精査中)

※ご注意

当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。



【お問い合わせ先】

かどや製油株式会社

〒141-0031

東京都品川区西五反田8丁目2番8号

TEL 03-3492-5545 FAX 03-3492-5985

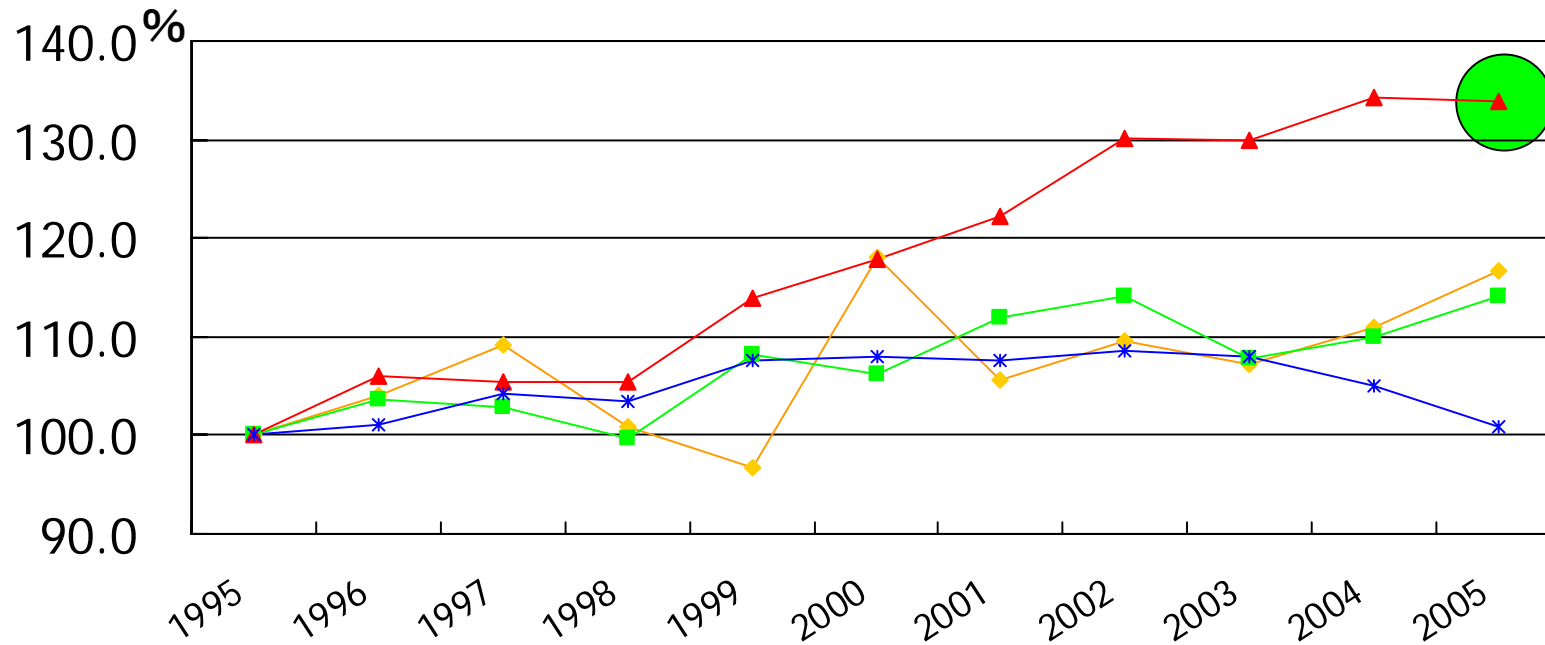
取締役専務執行役員 水戸 優

URL: <http://www.kadoya.com/>



付 属 資 料

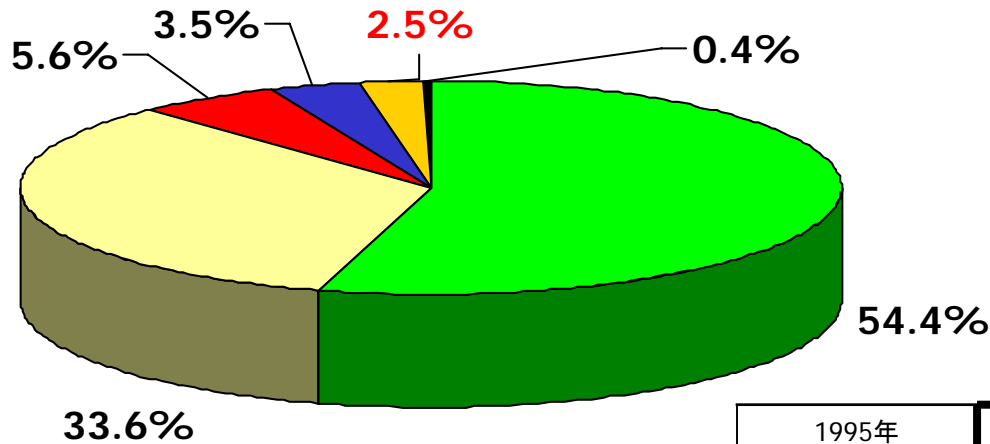
わが国のごま種子輸入量と搾油状況



	(1995年)	(2005年)	(伸び率)	(単位:トン)
◆ 全国ごま種子輸入量	139,566	162,754	116.6%	
■ 全国ごま油生産量	38,189	43,562	114.1%	
▲ 当社ごま油生産量	18,765	25,130	133.9%	
✱ 全国可食油生産量	1,701,229	1,714,173	100.8%	

資料:財務省通関統計
農林水産省作成
「油糧生産実績表」

わが国の油糧(可食油)生産量実績

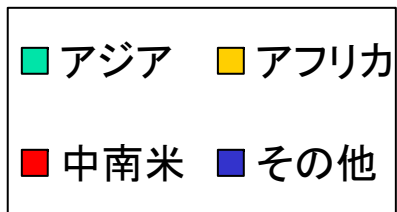
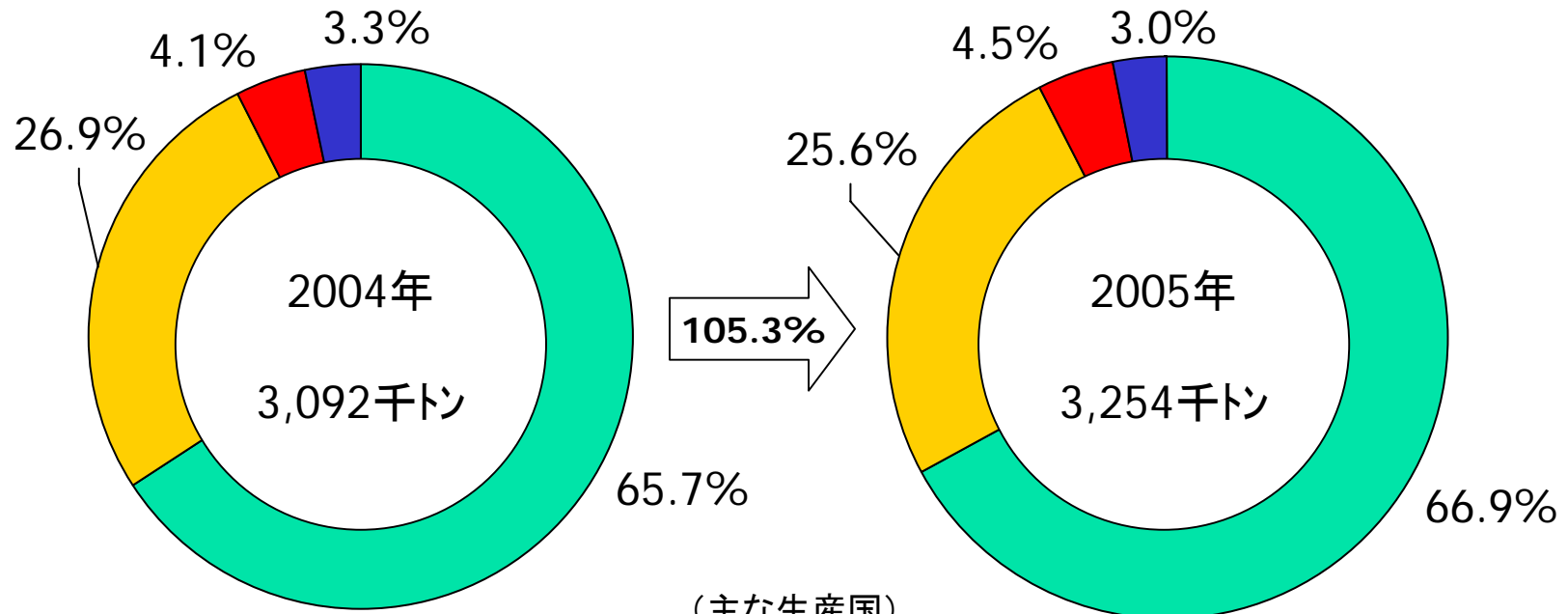


- 菜種
- 大豆
- とうもろこし
- 米ぬか
- ごま
- 紅花
- その他

	1995年 (数量:トン)	2005年 (数量:トン)	増 減	
			(数量:トン)	(比率)
菜種	787,482	932,160	144,678	18.4%
大豆	679,759	575,302	△104,457	△15.4%
とうもろこし	99,077	95,982	△3,095	△3.1%
米ぬか	68,415	60,008	△8,407	△12.3%
ごま	38,189	43,562	5,373	14.1%
紅花	20,834	-	△20,834	-%
その他	7,473	7,159	△314	△4.2%
合計	1,701,229	1,714,173	12,944	0.8%

資料: 農林水産省作成
「油糧生産実績表」

世界のごま種子生産量

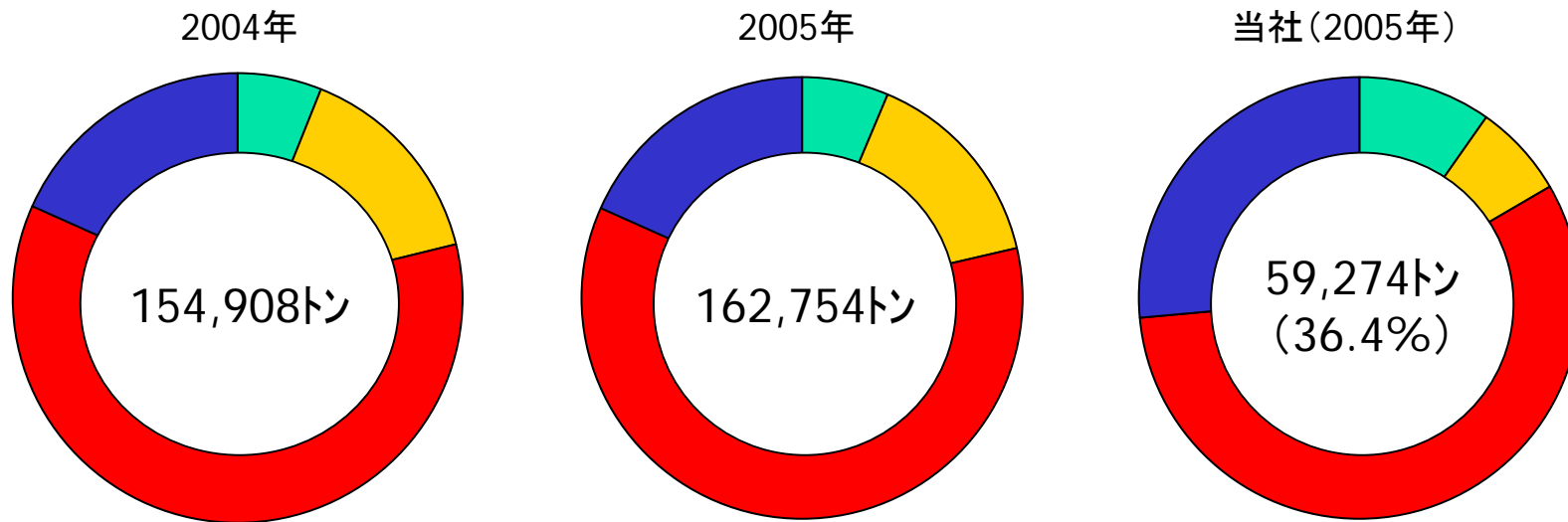


資料: FAO Inter-net data base

(主な生産国)

単位: 千トン	2004年	2005年	増 減
インド	800	680	△120
中国	651	725	74
ミャンマー	380	550	170
スーダン	325	300	△25

わが国のごま種子輸入実績



地域	2004年 (%)	2005年 (%)	当社(2005年) (%)
中国	6.2%	12.5%	9.6%
東南アジア	14.9%(ミャンマー・ベトナム他)	10.4%(ミャンマー・パキスタン他)	6.6%
アフリカ	60.0%(ナイジェリア・タンザニア他)	46.8%(ナイジェリア・タンザニア他)	55.9%
中南米	18.2%(パラグアイ・グアテマラ他)	30.3%(パラグアイ・ホルandia他)	25.9%

資料:財務省通関統計